

漢字・語彙力	測 定	す る	能 力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	論理的言語力	論理的読解力	論理的思考力
日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」、指示語・接続語などを論理的に扱う力。	論理的読解力	論理的読解力	論理的思考力
文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。	論理的読解力	論理的読解力	論理的思考力
			他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》 漢字・語彙力

(60点)

●解答

第一問

- (1) かじつ (2) あくせい
- (3) せいつう

第二問

- (1) 希望 (2) 照明 (3) 改心

第三問

- (1) 雑用 (2) 交際 (3) 句点

第四問

- (1) 機会 (2) 再開 (3) 追求
- (4) 事態

第五問

- (1) 関係 (2) 評判 (3) 芸術

第六問

- (1) 君には力が備わっている。
- (2) クラス委員として責任重大だ。
- (3) 口さげ女の話がまたたく間に国中に流布した。

■配点

- 第一問 各3点 第二問 各3点
- 第三問 各3点 第四問 各3点
- 第五問 各3点 第六問 各4点

◆解説

第一問

- (2) 「あくしょう」としないこと。

第二問

- (2) 「証明」としないこと。(3)は心を改めること。

第三問

単漢字の意味からそれぞれ考えます。

- 第二問 ウ
- 第三問 (1) ア (2) オ

■配点

- 第一問 各4点 第二問 4点
- 第三問 各4点

◆解説

第一問

イ 述語の「行く」に対して、主語が省略されています。

ウ 述語の「完成させなくてはならない」に対して、主語が省略されています。

第二問

「私は」↓「している」が主語と述語。「一輪車の」↓「練習を」↓「している」、「毎日」↓「している」とつながっています。

第三問

文と文との論理的関係を考えます。

- (1) 直前の「政府に任せきりにしてしました」に対して、「政府も」とあり、「せつめいしてきませんでした」とさらに付け加えているので、添加の「そして」。
- (2) 直後「自分たちでも考える必要があります」と、前の内容をひっくり返しているため、逆接の「しかし」。

《問題Ⅱ》 論理的読解力 (40点)

●解答

- 第一問 (1) ウ (2) ア (3) エ (4) イ

第二問 ナイル(川)

第三問 ライン(川)

第四問 ① ウ ② オ

第五問 ア ○ イ ○ ウ ×

エ × オ ○

■配点

- 第一問 各3点 第二問 6点

《問題Ⅰ》 論理的言語力

(20点)

●解答

第一問 イ・ウ

- (1) くださった＝雑、ようじ＝用
 - (2) 交も際も、ともに「交わる」の意味。
 - (3) 文の終わり＝句
- 第四問 同音異義語の問題。意味を考えましょう。
- (1) よい時(チャンス)のこと。
 - (2) 再会は再び会うこと、再開は再び始めること。
 - (3) 追求は追い求めること、追究は物事の本質を探究すること。
 - (4) 事態はことのありさま、自体はそれ自身のこと。
- 第五問 文脈から意味を考え、ふさわしい熟語を選びましょう。
- (1) 関係＝かかわり
 - (2) 評判＝世間のうわさ
 - (3) 「家」という言葉につながるもの。「数学者」であって、「数学家」とは言いません。
- 第六問 主語と述語から考えましょう。
- (1) 「力が」が主語、「備わってーいる」が述語。
 - (2) 主語が省略されています。述語は「責任重大だ」。「責任重大だ」に、「クラス委員として」がかかっています。
 - (3) 「話が」が主語で、「流布した」が述語。「話が」に「口さげ女の」、「流布した」に「またたく間に」と、「国中に」がかかっています。

第三問 6点 第四問 各3点
第五問 各2点

《問題Ⅳ》 論理的思考力 (40点)

●解説

第一問 (1) 経験 (2) 体感(感情)

(3) 感情(体感)

第二問 (1) 少しも (2) たとえ

第三問 弱く

第四問

私は大好きなイチゴのケーキを食べた。

第五問

今日は、友だちととなり駅で待ち合わせをしていたが、電車が止まってしまったので、約束の時間におくれてしまった。

を食べたのかというと、「大好きなケーキ

であり「イチゴのケーキ」なので、これら

をまとめて、「大好きなイチゴのケーキ

とします。

第五問

「順番を変えずに」という条件に注意。

Bの「しかし」を助詞の「が」に、Cの「だ

から」を「ので」「ため」「から」に変えま

す。

《問題Ⅴ》 論理的表現力 (40点)

●解答例

〈賛成〉

・自分のお金なので、自分に権利があるから。

・使い道を考えるのもいい勉強だから。

〈反対〉

・きっとむだづかいをしてしまうから。

・まだ自分でお金をかせいでいないから。

・お金をかせぐことは大変だから。

■配点 各10点

◆解説

自分の考えを述べるのではなく、「僕」「姉」「母」「父」のそれぞれの意見を理解し、自分の文章でまとめることができるかどうかです。

以下は四者の意見ですが、これらを賛成か反対かに分けて、自分の言葉で字数以内にまとめます。

話題 お年玉を自分で使うことについて

僕 賛成 お年玉は僕がもらったお金だから、どう使うかは僕が決める権利がある。

姉 反対 大金を持たせたら、きっとむだづかいをしてしまう。

母 反対 まだ自分でお金をかせいでいないうちは、親のいうことを聞きなさい。

父 賛成 自分でお金の使い道を考えるのもいい経験ではないかな。

◆解説

第一問

つばめのセリフか、あしのセリフかをまず考えます。

(1) つばめがあしをいたわったセリフだから、ウ。

(2) (1)に対するあしの返事だから、ア。

(3) つばめがあしをなぐさめたセリフだから、エ。

(4) つばめが冬まであしといっしょにいるというセリフに対して、あしの返事だから、イ。さらに直後の文は、「霜」の説明になっています。

第二問

冒頭に「つばめのたくさん住んでいるのはエジプトのナイルという世界中でいちばん大きな川の岸です」とあります。

第三問

第一段落に「つばめの群れの一つが」ドイツという国を流れているライン川のはとりまで参りました」とあります。

第四問

(1) 何の実かを考えます。直後にその説明があり、「ぶどうの収穫」とあるので、答えはウ「ぶどう」。

(2) 本文末尾に「(つばめも)南を向いて心細いひとり旅をする事になりました」とあります。

第五問

ア 第一段落に、「つばめも時々あきるとみえて群れを作ってひっこしをします」とあります。

イ 第四段落の冒頭に「ただやさしい形のあしとなかのよくなったつばめは帰ろうとはいたしません」とあります。

ウ つばめが折ったのは、「青い茎」ではなく、「枯れかけていた茎」です。

エ あしは来年またわかくきれいになって、つばめと会うことができます。

オ 本文末尾に「心細いひとり旅をする事になりました」とあります。

●解答

第一問 (1) 経験 (2) 体感(感情)

(3) 感情(体感)

第二問 (1) 少しも (2) たとえ

第三問 弱く

第四問

私は大好きなイチゴのケーキを食べた。

第五問

今日は、友だちととなり駅で待ち合わせをしていたが、電車が止まってしまったので、約束の時間におくれてしまった。

■配点

第一問 各4点 第二問 各4点

第三問 6点 第四問 6点

第五問 8点

◆解説

第一問

「言葉の力をつけるには何をしたらいいですか」とあるので、その「何」に当たるものを探すと、直後に「経験によるところが大きい」とあるので、(1)には「経験」が入ります。

問題文の要点は、「言葉の力をつけるには、経験が必要である」ということ。その理由は、「言葉というものは、体感や、感情とともに習得していくもの」とあるので、(2)(3)には「体感」「感情」が入ります。

第二問

(1) 「少しも」は打ち消しと共に用いる言葉なので、「少しも」↓「難しい」とは言いません。

(2) 「たとえ」でも「使用」ので、「たとえ」↓「弱い」とは言いません。

第三問

「書く力は」↓「欠かせない」が主語と述語。「社会を」↓「生きて」↓「いく」↓「うえで」とつながるので、「弱く」が不必要。

第四問

「私は」↓「食べた」が主語と述語。何